

Abies

翠樅会 | 宮城県泉館山高等学校同窓会 |

創立30周年

記念号

2015.08.15



ホームカミング プロジェクト

~ Heartful TATEYAMA ~

同窓生間の親睦を深め、在校生の学校生活と夢の実現を支援する。この定義を外れず、時代とニーズに対応できる会を目指します。新体制後の主な取り組みと目標を掲げます。

1. ホームページとイベント参加システムを考案

公立高等学校同窓会として初となる、webから企画に参加申込み可能としました。また、母校の過去から現在まで特集や同窓会会報を掲載します。さらにホームページとFacebookのハイブリッドを行いました。

2. 情報管理と周知の見直し

経費と人件費の増加、そして同窓生に郵送案内が難しくなるため、ホームページにて周知を行います。希望する方は、ホームページ上より住所変更が可能です。尚、住所録の発行や販売は認めません。

3. 学校との連携

在校生向けのキャリア教育、部活動と同窓生で作る同窓会会報、翠縦祭への出店など開始いたしました。

4. 役員、代表幹事、クラス幹事の連携強化

情報共有方法を見直し、効率的に活動できるようにします。

5. バリアフリーを意識した運営

2016年春の法律施行を見据え、イベント時の合理的配慮、ホームページのユニバーサルデザイン化を意識します。

在校生が先輩に聞きました

1

HIROKO KURODA

自由、そして一生懸命

深みのある温かい語り口にファンの多いフリーアナウンサー・黒田弘子さんは、泉館山高校の記念すべき1回生。思い出の校舎でインタビューを行いました。「ぴっかぴかの校舎だけ、他になあんにもなかったのよ」と笑顔で振り返る、「館高創生期」とは。



黒田 弘子さん 1回生

フリーアナウンサー。テレビ・ラジオ番組出演のほか、司会、ナレーション、朗読、講演等、幅広く活躍中。

個性派ぞろいの面々

創立と同時に入学した1回生。「受験のころ、グラウンドはまだ工事中。教室にはストーブがなくて、コートを着込んだまま試験を受けたの」と笑う黒田さん。最初の生徒として門をくぐることについて、「不安はなく、ワクワク感でいっぱいだった」と語ります。入学すると、期待以上におおらかで自由度満点。「先生方も生徒も、個性派ぞろい! すごく楽しかった」。



旅立ちのホームルーム

思い出深いのは最終学年の3年7組。「とても仲がよかったの。担任の千葉元信先生もユニークで面白い人でした」。卒業式、最後のホームルームで千葉先生が流した曲が、ロッド・スチュアートの「Sailing(セイリング)」。歌詞が配られ、全員で熱唱しました。「大海原へこぎ出す私たちへ、嵐の日も霧の日も自分を見失わずしっかりやれ、というメッセージだったと思う」と振り返る黒田さん。今もこの曲を聴くと、あの日の教室の風景がよみがえるそう。「当時のクラスメート全員がそうじゃないかな」。

目の前のことに全力を

自主性を尊重する校風のなかで、のびのびと過ごした3年間。ただ一つ、常に言われたのは、「君たちの後ろに伝統ができる。しっかり道を作りなさい」だったそう。「だから、いつも目の前のことに全力で取り組んだし、それが楽しかった」。そういえば、黒田さんのアナウンサーとしての信条は「一つ一つの仕事に心を込めること」…「根っこは館高で培われたみたい」と笑顔。

後輩たちにも宝物のような高校生活を送ってほしいと願う黒田さん。「感性を磨き、今しかできないことをしてほしい。意識している人々と話し、価値観を広げ、多角的な視野を身につける。これが、きっと将来に生きてきますよ」。



聞き手(放送部)

瀧沢 美加子(2年)「物事を多角的に見ることの大切さを教わった。これからの高校生活に生かしたい」

村上 璃子(2年)「人との縁を大事に仕事をされている。私も黒田さんと出会えてとてもうれしいし、このご縁を忘れずにいたい」

撮影(写真部)

平地 智己(1年)
島守 彩寧(1年)

在校生が先輩に聞きました

2

MASAHIKO KOKUTA

身につけた「セオリーを越える強さ」

平成26年、全国高校野球選手権宮城県大会で優勝、念願の「夏の甲子園」への切符を手にした利府高校。甲子園では、県公立校として31年ぶりの「夏」1勝を挙げました。チームを率いて旋風を巻き起こしたのは、本校OBの穀田長彦さん。館高時代の思い出や、現在へつながらる学びを聞きました。



穀田 長彦さん 3回生

利府高校教諭、野球部監督。平成26年第96回全国高校野球大会へ監督として出場。

野球漬けの3年間

「教職に就いたのは、館高での3年間があったから」と話す、穀田さん。現役当時、秋季東北大会準決勝で敗退した悔しさから、「指導者として甲子園の土を踏もう」と考えたそう。

野球に明け暮れた館高時代を振り返ると、「仲間といることがとにかく楽しかった」。3年目の新設校に伝統と呼べるものはなく、環境も決して恵まれてはいない状態。練習時間の不足を埋めるため、ゴルフ練習場の一角を借り、トレーニングジムへ通い、仲間と工夫を重ねました。

ピンチにこそ、笑え

メキメキと実力をつけたナインは数ある強豪を倒し決勝へ。なぜ、勝ち上がったのでしょうか。「当時の加藤幹夫監督は"今ある戦力でいかに勝つか"にこだわりました。ヘタでもできることがある、東北や育英とは違う野球をする、と」。もう一つ、印象深い教えは「ピンチにこそ、笑え」。

指導者となった穀田さんは、加藤監督の魂を受け継ぎ利府高で指揮官に。甲子園出場がかかった決勝戦、セオリーと異なる采配もしたそう。「安全策にすがっても新しいものは生まれない、自分の信じるようにやれ。それが高校時代に学んだことでしたから」。大一番で発揮したのは、館高仕込みの底力。「もちろん、ピンチに笑って(笑)。少しは義理が果たせたかな」。



聞き手(放送部)

澁谷 まゆ(1年)「野球部の監督のおかげで、今の穀田監督がある。出会ってすごいと思う」

瀧沢 美加子(2年)「高校時代の経験が大人になって生かされるという話に感激しました。今を大事に過ごしたい。」

撮影(写真部)

平地 智己(1年)
島守 彩寧(1年)

伝統作った後輩に感謝

話を高校時代に戻し、当時の学校の様子を尋ねると、「これから自分たちで学校を創るんだ、というポジティブな勢いに満ちていました」。創立から、全学年が揃った最初の年。先生方も生徒も強く団結していたそう。「今の館高生を見ると、歴代の生徒が立派に伝統を作ってきたことが分かる。卒業生であることを誇りに思うし、後輩の皆さんに心からの感謝を伝えたいです」。



在校生が先輩に聞きました

3

YOSHIHIRO HORIGOME

可能性を決めつけず チャレンジを!

高校時代は陸上部に所属しインターハイ、国体に出場した堀籠佳宏さん。卒業後も日本を代表する選手として活躍、2008年北京五輪には1600mリレーのメンバーとして出場。今回、久しぶりに母校を訪れ、懐かしさに浸りながら思い出を語っていただきました。



堀籠 佳宏さん 14回生

富士通陸上部アドバイザーコーチ。
(株)ニューモード取締役。
2008年北京五輪日本代表。

目標達成のプロセス

高校時代の一番の思い出を、「インターハイでの予選落ち」と語る堀籠さん。力を出し切れなかった悔しさが忘れられないそう。「でも、その後の競技生活があったのは、この敗北のおかげ」。さらに、「仲間や家族にどれほど支えられているか実感したことも、よい経験でした」。

部活を続ける上で最大の課題は、勉強との両立。「がむしゃらにやるだけではダメだと途中で気づいて、克服できました。"目標に向かって段階的に計画を立て、実行する"というプロセスを身につけられた」と言い、「オリンピックへの挑戦においても、やることは同じ。高校時代に苦勞しておいて本当によかった」。世界を舞台に活躍した名アスリートのベースは、館高時代に築かれたのかもしれない。

恩師との出会い

今も感謝するのは当時の顧問、大山和広先生。一目で堀籠さんの才能を見抜き、焦らずじっくり育ててくれた恩師。「もっとハードに練習したらインターハイで上位に入れたかもしれないが、高校止まりだったと思う。我慢して基礎をしっかりとやったことが、後になって



生きました」。2年の冬に言われた「将来必ず日本を代表する選手になれる」という言葉を胸に卒業後もトレーニングに励み、「予言」通り見事オリンピックと世界陸上への出場を果たした堀籠さん。今も毎年大山先生に会うそうです。

初心を忘れずに

陸上の魅力は、「努力がハッキリ数字に表れること」と話します。「結果がすべて、それが気持ちよくて好き」。館高の後輩たちへ、「何かを始めたときの"楽しい"という気持ちを忘れないで。自分で可能性を決めつけて選択の幅を狭くせず、広い世界にチャレンジしてほしい」とエールを送ってくれました。



聞き手(放送部)

小嶋 柚香(1年)
「運動が苦手なことが悩み。速く走るコツを教えてもらったので、実践してみたいです!」

寺山 百音(2年)
「かっこいい! あきらめないことが大事、という言葉が心に残った。私も目標を定めて頑張りたい」

撮影(写真部)

岩間 史帆(3年)
阿部 真奈(3年)

在校生が先輩に聞きました

4

HITOMI NAGO

「やり遂げる喜び」を実感

Date FMのパーソナリティとして、「なごちゃん」の愛称で親しまれる名護ひと美さん。ラジオで声を聴くことができる先輩は、在校生にとって身近な憧れの存在です。高校時代はどんな毎日を送っていたのか、得たものは何か、聞きました。



名護 ひと美さん 17回生

DateFMアナウンサー。
現在、「J-SIDE STATION」(月・火)などの番組を担当。



自主性に憧れ抱き

市の中心部に近い自宅から自転車で片道40分。他に選択肢もある中で泉館山を志望したのは、学校説明会がきっかけだったそう。司会やスライドの解説等、運営のすべてを生徒が仕切っていることに感激。「他校は先生がやっていたから…すごい!ここに入ら!って決めました」。

やりたいことができる校風

入学後も、意欲に満ちた生徒たちと、自主性を尊重し見守る先生方との関係に魅力を感じ、生徒会執行部や放送部で活躍。当時、服装に関する校則の変更や、現在も受け継がれる「イルミネー



ション」の活動が生徒の手で実現した直後の時期で、「校風は自由で平和。やりたいことができる学校でした」。放送部での一番の思い出は、茶道室に泊まり映像作品を作った「夏合宿」。「学校に泊まるっていう、ちょっぴり悪いことをしているような高揚感」を今も思い出そう。「校内のカップルも多かったですよ。二人で自転車で帰ったり、お弁当食べていたり…(笑)」。共学校が少なかった時代、館高生に与えられた甘酸っぱい特権だったのでしょうか。

生かされる「選択する力」

高校生活で得たものは、「選択する力」と語ります。「企画から運営までのプロセスを生徒だけでやり遂げさせてくれる空気が、館高にはあった。だから、どう実現させるか、アイデアを出し取捨選択する力がつきました」。当時の経験は、今に生かされていると感じるそう。「仕事や社会生活では、あらゆる場面で選択を迫られる。館高で学んだ“自分を信じて行動する力”が役立っています」。

最後に後輩たちへ。「今、頑張っていることは何か、を実感しながら過ごしてほしい。そうすると将来振り返ったときに、高校時代がキラキラ輝いて見えるはず!」。



聞き手(放送部)

鎌田 春風(2年)
「どうしても名護さんに会いたくて、この取材を立候補しました。想像通りとても素敵な方で感激しました!」

長澤 綾香(1年)
「アナウンサーになるのが夢。具体的なアドバイスをもらったので、明日から頑張ります!」

撮影(写真部)

平地 智己(1年)
島守 彩寧(1年)



八巻 真哉

宮城県泉館山高等学校 同窓会長

はじめに、東日本大震災による多大なるご苦労、ご心痛と共に歩まれている皆様へ、改めて哀悼の意を表します。また、日頃より同窓会活動にご理解、ご尽力頂いている同窓生、教職員、ご父兄、更には学校近隣の皆様に深謝申し上げます。

さて本校同窓会は、お陰様で2015年に30周年を迎えます。そこで、約1万人の同窓生に向けて、集まれる場所、母校に帰って来れる機会、そして館山らしい心ある雰囲気を提供いたします。プロジェクト名は、ホームカミング。皆様にいつでも、気軽に、誰でも帰って来れる思いで、アメリカの学校をヒントにしました。また Heartful と冠したのは、私自身が学生時代から現在に至るまで、人との繋がりと真心が中心に存在するからです。行事があれば徹底的に盛り上がり、学習や進路で迷った時、傍には学年を超えた先生の存在がありました。今もその様な館山があります。役員だけでなく、第1回生から新しい同窓生からもアイデアを出して頂



澤田 可知

宮城県泉館山高等学校 校長

同窓会設立30周年誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。私、今年4月に宮城県石巻好文館高等学校より本校に着任いたしました澤田可知と申します。

去る4月8日の入学式の校長式辞の中で、「本校は、今年度で創立33年目を迎え、文武両道を実現できる県下屈指の進学校としてゆるぎない実績を積み重ねてきています。本校で学んだみんなの先輩方は、文武両面における素晴らしい実績を作り上げ、様々な分野で広く活躍しております。新入生の皆さんは、そのような伝統を作り上げてきた先輩方に感謝するとともに、本校の新たな歴史を築き上げていくのだという気概を持ち、一人ひとりが自らの理想の追究に全力を挙げてほしいと願っています。」という話を述べさせていただきました。

泉館山十年誌を拝見すると、開校当初は、長命ヶ丘団地造成の中にあつて、一本の木もなく一期生の言葉によれば「砂漠の中の学校」だったとあります。同窓会は、第1回卒業式の

き、更には教職員皆様からも暖かい支援を受けております。

さて、今回お届けする記念誌のテーマは、在校生と同窓生です。生徒が先輩を訪ね、後輩へ語りかける姿は、母校を支え作り上げてきた歴史を思い起こさせます。私もインタビューに立ち会わせていただき、皆様から自身の意義、人と共に生きる喜び、夢を叶え続ける意思を感じました。

一方で、私は全ての同窓生に、筋書きのないドラマがあり、そんな皆様との出会いは、互いの人生を更に鮮やかにするでしょう。たとえ、人生に迷っていても、同窓会のドアはいつでも開いています。結びに、新体制になりまだまだ不十分な点もございますが、少しずつ支援して頂ける仲間も増えてまいりました。皆様と共に同窓会を作ってまいりたい。今後ともご教示賜りたく存じます。そして、皆様の更なるご多幸とご活躍を願っております。

前日に発令式が行われ、各クラス代表幹事2名、代表幹事が選出されました。今では、おかげさまで校木の樫の木をはじめ緑の多い学校に変貌し、また、卒業生もまもなく1万人を超えようとしております。平成15年度から「生徒一人ひとりの夢の実現を目指して」を合言葉に、3年間で身につけたい3つの力〈人間力・学習力・進路選択力〉を柱としたサポートプラン「大志21」に取り組み、大きな成果を上げています。現役国公立大学合格者100名超を10年連続達成し、同窓会と同じく今年第30回を迎えた泉三校定期戦では、6年ぶりの総合優勝を果たすなど各部活動も伝統を引き継ぎ、各種大会で活躍しております。

最後になりましたが、同窓会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝をお祈りいたしますとともに、これまでのご支援ご協力に感謝申し上げます。引き続き母校へのご指導ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。ありがとうございます。



太田 尚人

宮城県泉館山高等学校 初代同窓会長

「同窓会30周年」おめでとうございます。そしてありがとうございます。

1回生は現在48歳、同窓生はおよそ1万人。私は3回生で、入学した頃はまだ机も椅子も壁も皆真新しいものでした。

毎年、翠樞祭(私も含めた一昔前に卒業されたみなさん! 今では「文化祭」のことを翠樞祭(すいしょうさい)と呼びます)に参加させて貰っておりますが、今では机、椅子、壁には30年以上に渡るキズと呼ばれる歴史のミゾが刻みこまれています。

ある意味誇らしく感じます。

そしてそんな泉館山高校はもっとも世にできるべき高校だと思っています。



小林 良太

宮城県泉館山高等学校 2代同窓会長

宮城県泉館山高等学校同窓会の創立三十周年、誠におめでとうございます。

私は第2代同窓会長として平成16年度から25年度までの3期9年間を務めました。創設当初の泉館山高校は仙台市郊外に建つ男女共学の学校というアイデンティティ以外、何の実績も伝統も持たない無名の学校でした。このゼロ地点から、多くの先輩方が素晴らしい先生方と啖吟して誠実な歩みを重ね、他のナンバースクールと肩を並べる学校にしてくれました。私の会長としての任期中には全県男女共学化と一学区化という大きな高校改革が行われましたが、それでも館山高校は国公立大学進学者数で宮城県ナンバーワンを維持するなど顕著な活躍を続けました。

実直で前向きな館高の校風は創立以来生徒に



田代 葵

宮城県泉館山高等学校 生徒会長

宮城県泉館山高校同窓生の皆様、こんにちは。第31回生生徒会長の田代葵と申します。このたび、同窓会創立30周年記念誌への執筆に携わることができ、少し緊張しつつも、とても光栄に思っています。

さて、本年設立30周年を迎えた泉館山高校同窓会ですが、私が歩んできた高校生活を振り返ってみると、同窓生の方々による在校生への進路指導、泉館山高校の各行事での陰ながらのサポートなど、たくさんの支援をしていただいたことが印象的です。そしてそれは、私たちが在校生がより良い充実した高校生活を送るために必要不可欠なものであると感じます。この暖かく手厚い支援をしてくださり、館山高校発展のために貢献してくださる同窓生の皆様には、感謝の念が堪えません。

また、館山高校の特色である文武両道の精神。

すでにWikipediaの載っている卒業生もあり、今でも社会に十分寄与しているとは思いますが、

卒業生にはまだまだ、政治家、タレント、文化人、実業家、スポーツ選手募集中です。

皆さんと名実ともに誇る高校に作り上げていきましょう!

脈々と受け継がれています。文化祭や卒業式に参列すると在校生に館高生としての自信と喜びがみなぎっているのを感じます。これは同窓生の30年にわたる心がけの正しさと不断の努力の賜と確信しております。これから大学入試が変化しても、他者を敬う立ち居振る舞いが美しい学校は生き残っていきま

す。泉館山高校と同窓生の皆様のますますのご活躍とご多幸を心より祈念申し上げます。

生徒一人一人が勉強、部活動、学校行事、その他たくさんの活動に一生懸命取り組む雰囲気作りがなされていること。これは、泉館山高校同窓会が活気ある館山高校の伝統を築き、それを受け継いでいるからであると思います。

そのため私たちも将来泉館山高校同窓会の一員として、館山高校独自の伝統・精神を後世へ伝える義務があります。まずは私たちが普段何気なく高校生活を送る中で、少しでも館山高校の発展につながることを考え、積極的に挑戦していくとともに、館山高校の伝統を後輩達に受け継いでいきたいと思

います。最後になりましたが、泉館山高校同窓会のさらなる発展を祈念して、挨拶とさせていただきます。

TOPIC 01 卒業回生早見表

生まれた年度と卒業年次によって何回生がわかる早見表です。卒業当時の校長先生、各クラスの担任の先生方のお名前も併記しております。懐かしい恩師にお会いになりたいという方は是非、同窓会役員へご連絡ください。現在の勤務校等、同窓会で把握している範囲で情報提供可能です。

回生	生まれた年度	卒業年	在職校長	卒業次 組担任										
				1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組		
1	1967	S42	1986	S61	加藤 暢郎	吉光 章喜	佐藤 典郎	伊藤 峰視	浅沼 一夫	関 訂	梁川 武治	千葉 元信	渡辺 忠明	
2	1968	S43	1987	S62	加藤 暢郎	佐藤 典郎	齋藤 光次	渡部 孝	武林 恵子	浅沼 一夫	澤村 茂	狩野 宗憲	早川 克文	
3	1969	S44	1988	S63	加藤 暢郎	渡部 孝	菊池 由和	鈴木 秀夫	熊谷 桂二	木村 淳	福田 誠	山下 雅範	奥山 雅敏	
4	1970	S45	1989	H1	湯本 真哉	小野寺 宏	吉光 章喜	一條 忠美	堀川 和義	狩野 宗憲	櫻井 宏一	武林 恵子	千田 孝彦	
5	1971	S46	1990	H2	湯本 真哉	佐藤 典郎	青山 純	渡部 孝	太田 健治	河岸 博子	浅沼 一夫	斉藤 安正	澤村 茂	
6	1972	S47	1991	H3	湯本 真哉	佐藤 典郎	伊藤 峰視	和泉 安信	粕谷 淳子	熊谷 桂二	木村 淳	菊池 由和	福田 誠	
7	1973	S48	1992	H4	湯本 真哉	狩野 宗憲	菊池 豊	澤村 茂	渡部 孝	小野寺 宏	遠藤 宣廣	堀川 和義	櫻井 宏一	井口 雅夫
8	1974	S49	1993	H5	沼田 啓充	浅沼 一夫	青山 純	一條 忠美	斉藤 安正	谷藤 正樹	河岸 博子 (狩野 宗憲)	山下 雅範	太田 健治	
9	1975	S50	1994	H6	沼田 啓充	渡部 孝	菊池 由和	大宮 和子	秋元 一郎	熊谷 桂二	千田 孝彦	阿久津三枝子	鎌田 幹夫	
10	1976	S51	1995	H7	沼田 啓充	阿部 翼	菊池 豊	佐伯 聖一	菅原 一比古	武林 恵子	小野 泰治郎	堀川 和義	小野寺 宏	井口 雅夫
11	1977	S52	1996	H8	菅野 政夫	梅田 茂	玉井 秀明	斎藤 文弘	志村 和治	上西 亮子	渡部 孝	狩野 宗憲	大谷 豪生	
12	1978	S53	1997	H9	菅野 政夫	青山 純	一條 忠美	玉井 秀明	熊谷 桂二	鎌田 幹夫	菅原 一比古	菊池 潤	樽野 幸義	
13	1979	S54	1998	H10	菅野 政夫	佐藤 春作	菅原 久夫	大橋 由紀子	高瀬 琢弥	町田 尚彦	笠原 哲雄	芳賀 誠	谷藤 正樹	
14	1980	S55	1999	H11	遠藤 宗雄	加藤 徳善	飛鳥 貴	斎藤 文弘	伊藤 浩	小野寺 雄一	樽野 幸義	三浦 全部	遠藤 厚志	
15	1981	S56	2000	H12	遠藤 宗雄	栗原 康治	菅原 実	奥山 恭子	高橋 隆一	半田 千里	樽野 幸義	金澤 潤	末木 正信	
16	1982	S57	2001	H13	岡崎 忠	北爪 郁子	青山 勝	町田 尚彦	堀籠 亮一	佐藤 春治	菅原 久夫	玉井 秀明	大橋 由紀子	
17	1983	S58	2002	H14	岡崎 忠	飛鳥 貴	齋藤 孝志	小野 均	梅森 修二	半田 千里	伊藤 浩	伊藤 博之	川村 恵理子	奥山 恭子
18	1984	S59	2003	H15	花井 弘美	渡部 知子	青山 勝	加藤 徳善	佐藤 浩志	金澤 潤	細倉 浩	木村 篤史	畠山 晶子	浅野 行廣
19	1985	S60	2004	H16	花井 弘美	岩淵 伸夫	渡部 知子	山本 肇	佐藤 光二	小野 善広	堀籠 亮一	宇都宮 満	北爪 郁子	
20	1986	S61	2005	H17	花井 弘美	佐々木 智子	菅原 謙一	富岡 久喜	川村 恵理子	黒澤 弘	奥山 恭子	宇都宮 満	小野 勝	
21	1987	S62	2006	H18	花井 弘美	神保 義信	村松 昌子	桂島 猛	飛鳥 貴	手代木 章宏	秋山 直樹	青山 勝	菅原 淳	
22	1988	S63	2007	H19	高津 律子	佐藤 春治	佐藤 浩志	鶴岡 丈彦	佐竹 潤一	岩館 裕章	青柳 啓介	雪江 美穂	庄司 清彦	
23	1989	H1	2008	H20	高津 律子	菅原 謙一	奥山 恭子	池田 秀樹	木村 剛	木村 篤史	宇都宮 満	鈴木 秀利	富岡 久喜	
24	1990	H2	2009	H21	高津 律子	高橋 由紀	上杉 茂樹	青柳 啓介	村松 昌子	村上 悟	富永 明	愛澤 英治	黒澤 弘	
25	1991	H3	2010	H22	佐藤 富夫	池田 秀樹	針生 智之	横山 佳司	菅 修一郎	岩館 裕章	鶴岡 丈彦	庄司 清彦	千葉 薫充	
26	1992	H4	2011	H23	佐藤 富夫	小野寺 章	菅原 謙一	木村 剛	大場 緑	桂島 敦	斎藤 秀美	松本 尚樹	鶴岡 丈彦	
27	1993	H5	2012	H24	小笠原 朋之	林 宣子	木村 敬二	田中 由紀	青柳 啓介	横山 佳司	富永 明	村上 悟	沼田 秀樹	
28	1994	H6	2013	H25	小笠原 朋之	藤崎 統康	森谷 浩明	針生 智之	池田 秀樹	小山 裕之	西澤 崇	高橋 文	天川 葉子	
29	1995	H7	2014	H26	小笠原 朋之	梅村 聖一	木村 剛	茂野 真喜子	秋山 和士	小山 裕之	水上 智子	浅沼 謙一	小野寺 章	
30	1996	H8	2015	H27	松本文弘	西澤 崇	二階堂 芳輝	松本 尚樹	横山 佳司	長谷川 拓美	阿部 人志明	扇谷 健	林 宣子	

TOPIC 02 「なつかしの先生を訪ねて」

—熊谷 佳二 先生(昭和60年度～平成8年度在職 担当教科は理科(生物))—

先生方の中でも最長クラスの12年間に渡り館山高校に在籍され、3・6・9・12回生と4回に渡り卒業生を送り出し、「熊ちゃん」の愛称で多くの生徒に親しまれていた熊谷桂二先生(教科:生物)も今年度で定年を迎えます。

現在勤務の宮城野高校を訪問し、草創期の館山高校の思い出話を聞いてきました。熊谷先生は、丁度、今から30年前に館山高校に赴任されました。親しみのあるキャラクターと熱意ある生徒指導で生徒からの信頼も非常に厚いものがありました。

赴任2年目、初めて担任を持つこととなった2年5組(3回生)。先生の結婚式の披露宴会場で、サプライズでクラスの生徒全員が飛び入りで合唱を披露してくれて、先生は大変感動されたという話は、生徒に人気のあった熊谷先生らしいエピソードです。

先生自身が教師として館山高校時代に一番印象に残っていることは、全盲の生徒さん(松川さん:9回生)の担任になったこと。視覚支援学校ではなく、普通科への進学を志望した彼女の学びを支えるため、当時の学年主任の福田誠先生とタッグを組んで様々な問題を解決しながら無事社会へ送り出すことができたことだそうです。

生徒と教師が信頼しあっていて、一緒に学校を創っていく空気があったところが「館山らしさ」だったのではということでした。インタビュー中は、高校時代と全く変わらない気さくで、いろいろな昔話が飛び出しました。14回生以前の同窓生の皆さんで高校時代の思い出に「熊ちゃん」の姿がある方は、是非宮城野高校訪ねてみてください。来年3月末までですよ!!



TOPIC 03 『職業別進路講話』に同窓会生が参加

現在の館山高校の進路指導の一環として実施されている「職業別進路講話」(キャリアセミナー)は3年前から20名以上の社会人が来校し、生徒が複数の社会人から仕事や生き方について少人数の車座で話を聞く形式を取っています。昨年から同窓会としても本格的にこの取組を支援しており、多くの同窓生が在校生に自らの仕事を語ってくれています。



平成26年9月12日に開催された「職業別進路講話」

TOPIC 04 平成26年度 部活動の主な戦績

- ソフトボール部
 - 県総体 第3位
 - 県選手権大会 ベスト8
- 陸上競技部
 - 県総体
 - 女子走高跳び 第3位 (東北大会出場)
 - 女子走幅跳び 第5位 (東北大会出場)
 - 新人大会
 - 男子110MH 第3位 (東北大会出場)
 - 女子走幅跳び 第4位 (東北大会出場)
- 男子テニス部
 - 県冬季ジュニア大会
 - シングルス ベスト8
 - 県夏季ジュニア大会
 - シングルス 第3位
 - 新人大会
 - 団体 ベスト8
 - シングルス 第2位
 - ダブルス ベスト8
- 女子テニス部
 - 新人大会 ダブルス 第3位
 - 最優秀賞 (全国大会出場)
- 女子ソフトテニス部
 - 県総体 団体 ベスト8
 - 最優秀賞 (全国大会出場)
- 女子剣道部
 - 新人大会 個人 ベスト8
 - 最優秀賞 (全国大会出場)
- 男子弓道部
 - 県総体
 - 団体 ベスト8
 - 個人 第2位 (東北大会・全国大会出場)
- 女子弓道部
 - 新人大会 団体 第4位
- 山岳部
 - 新人大会 男子団体 第8位
- 吹奏楽部
 - 全日本吹奏楽コンクール東北大会 銀賞
- 美術部
 - 県高校美術展 優秀賞
- 写真部
 - 宮城県高等学校写真展 銅賞
 - 第21回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2014」本戦(全国大会)出場 敢闘賞
 - よみうり写真大賞 高校生部門 佳作
- 家庭部
 - スイーツ甲子園 北海道東北ブロック大会出場
 - 県地産地消お弁当コンテスト 入選
- 放送部
 - 第61回NHK杯 全国高校放送コンテスト東北大会 テレビドキュメント部門 「No Graffiti」
 - 最優秀賞 (全国大会出場)
 - ラジオドラマ部門「memories」
 - 最優秀賞 (全国大会出場)
 - ラジオドキュメント部門 「変進★ランチタイム」
 - 最優秀賞 (全国大会出場)
- 囲碁将棋部
 - 第50回全国高校将棋選手権大会 県予選大会
 - 女子団体 第2位
 - 第31回県高校将棋新人大会
 - 男子個人 ベスト8

HISTORY

昭和58年	1月31日	屋内体育館完成	平成7年	2月24日	第2期グラウンド整備工事
	2月20日	第1期工事教室棟完成		4月1日	第4代校長菅野政夫着任
	4月1日	初代校長加藤暢郎以下教職員25名着任	平成9年	3月5日	コンピューター設置(21台)
	4月8日	開校式及び第1回入学式挙行。校旗表掲	平成10年	4月1日	第5代校長遠藤宗雄着任
	7月20日	生徒会発表		3月17日	宮城県学習情報ネットワークへの接続・インターネットの利用開始
	8月31日	第2期工事管理棟完成	平成11年	4月1日	学級増に伴うプレハブ校舎1棟増設(平成14年度まで)
	11月4日	校歌制定(作詞菊田茂男氏,作曲小野浩資氏)並びに発表会	平成12年	4月1日	第6代校長岡崎忠着任
	11月5日	第1回文化発表会		4月1日	学級増に伴うプレハブ校舎1棟増設(平成13年度まで)
	11月12日	開校並びに校舎落成記念式典挙行	平成14年	4月1日	第7代校長花井弘美着任
	12月24日	器具庫(部室),自転車置場2棟完成		11月7日	創立20周年記念式典挙行
昭和59年	11月9日	テニスコート(4面)練習板(1面)完成	平成16年	4月30日	多目的ホール(翠樅会館)完成
昭和60年	6月29日	野球場バックネット改修工事		8月	第2代同窓会長小林良太 選任
昭和61年	3月1日	第1回卒業式挙行,校訓碑建立	平成17年	11月30日	体育館庇等改修工事
	3月31日	自転車置場1棟完成	平成18年	4月1日	第8代校長高津律子着任
	5月1日	第1回泉三校定期戦	平成19年	10月4日	バリアフリー(スロープ)設置工事
	8月9日	第1回同窓会総会	平成20年	8月26日	部室塗装等改修工事
	3月1日	校歌碑建立		12月12日	非常放送設備更新工事
昭和62年	7月24日	水泳プール完成		12月15日	プール補修工事
昭和63年	3月1日	語学演習室(LL)完成	平成21年	4月1日	第9代校長佐藤富夫着任
	4月1日	第2代校長湯本眞哉着任	平成23年	4月1日	第10代校長小笠原朋之着任
平成元年	1月24日	柔剣道場完成		6月12日	多目的トイレ設置
	3月3日	体育館フロアー全面補修	平成24年	8月18日	進路学習室設置
平成2年	3月14日	北倉庫完成		10月5日	創立30周年記念式典挙行
	5月30日	テニスコート改修工事	平成25年	8月	第3代同窓会長八巻真哉 選任
	8月16日	普通教室・廊下床塗替工事	平成26年	4月1日	第11代校長松本文弘着任
平成3年	3月30日	野球場バックネット増設工事		9月5日	ソフトボール防球ネット新設工事
平成4年	4月1日	第3代校長沼田啓充着任		10月7日	管理棟エレベーター新設工事
		初代同窓会長太田尚人 選任	平成27年	4月1日	第12代校長澤田可知着任
	7月14日	部室完成			
	8月16日	自転車置場1棟完成			
	11月11日	創立10周年記念式典挙行			
平成5年	6月28日	テニスコート整備工事			
	8月19日	中庭整備工事			
	9月22日	第1期グラウンド整備工事			



宮城県泉館山高等学校同窓会

〒981-3211 宮城県仙台市泉区長命ヶ丘東1 宮城県泉館山高等学校内
Tel. 022-376-0975

URL. <http://www.izumitayama.jp/>

Facebook. <http://www.facebook.com/groups/215259171873714/>